

## MPI グループ サステナビリティレポート（2024 年度版）

株式会社メディサイエンスプランニング（MPI）

2025 年 9 月

## 目次

|                            |   |
|----------------------------|---|
| 1. 基本方針.....               | 3 |
| 2. 推進体制.....               | 3 |
| 3. マテリアリティとK P I .....     | 3 |
| 4. 報告範囲及び参考としたガイドライン ..... | 4 |
| 5. 環境指標.....               | 4 |
| 5-1. GHG 排出量.....          | 4 |
| 5-2. 廃棄物管理.....            | 7 |
| 6. 社会指標.....               | 7 |
| 7. 今後について .....            | 8 |

## 1. 基本方針

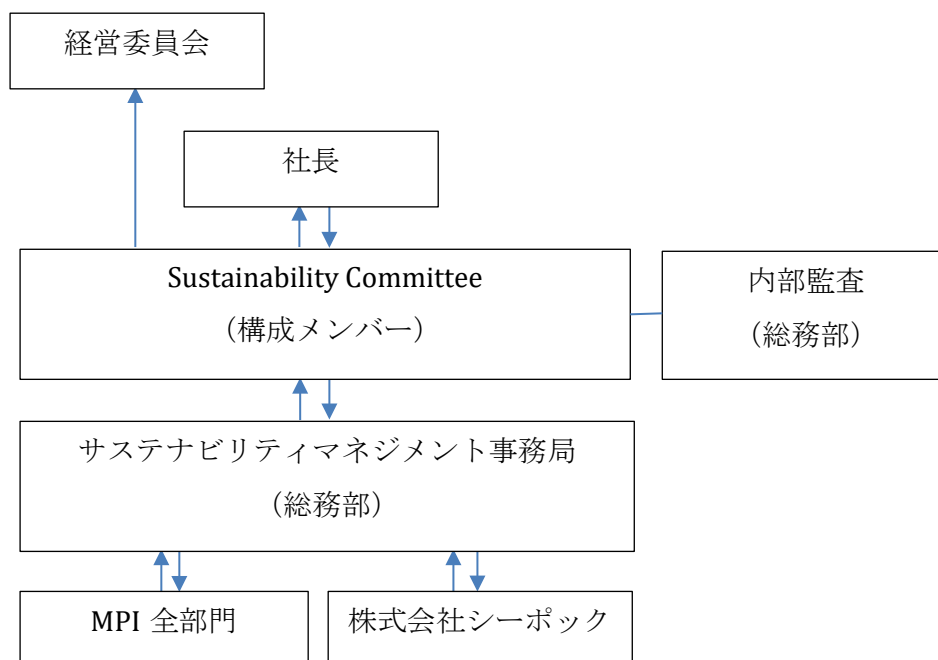
メディサイエンスプランニンググループは、社会貢献性の高い CRO 事業を担う企業として、「健全性に貢献する」ことを企業理念に掲げ、持続可能なサービス提供を目指しています。医薬品業界を取り巻く環境が大きく変化する中、サステナビリティを事業推進の中核に据え、体制強化に取り組んでいます。

経営方針として掲げる「臨床開発力 No.1」「顧客満足度 No.1」「社員満足度 No.1」の実現を通じて、経営基盤の強化と企業成長を図るとともに、「人」「環境」「社会」に配慮した健全かつ公正な企業を目指しています。そのために、重要課題（マテリアリティ）を特定し、KPI や定量目標を設定し、サステナビリティ推進に努めています。

## 2. 推進体制

社長を統括責任者とする Sustainability Committee を設置。役員、部長級で構成され、年 1 回のレビューを実施。総務部が事務局として CSR 活動を推進。内部監査およびマネジメントレビューを通じて改善を図っています。

### サステナビリティマネジメント体制図



## 3. マテリアリティとKPI

MPI グループでは、サステナビリティ推進に向けて、以下の 3 つの領域（S・G・E）に分類されたマテリアリティを特定し、具体的な取り組みと定量目標を設定しています。

### S：社会（Social）

**人材育成：**専門性と柔軟性を兼ね備えた人材の育成を目指し、研修制度の拡充（2027 年までに +10 プログラム）、チューター制度導入、社内インターンシップ制度の利用率 20% 向上などを推進。

**DEI（多様性・公平性）：**柔軟な働き方の制度整備、女性管理職比率 40%（2030 年まで）、男性育休取得率の維持（2024 年度：70.0%）などを目標に設定。

**健康経営**：ストレスチェック実施率 100%維持、月平均残業時間 20 時間以内の維持などを通じて、社員の健康と生産性向上を図る。

**労働安全衛生**：産業医との連携、防災訓練の実施、衛生委員会からの改善案実行件数+12 件/年などを推進。

## G：ガバナンス（Governance）

**コンプライアンス**：年 1 回のリスク評価、研修受講率 100%を目標に、倫理・法令遵守の徹底。

**情報セキュリティ**：情報資産保護のための教育受講率 100%、年 1 回のリスク評価と教育実施。

**事業継続計画（BCP）**：事業停止リスクの評価・見直し・教育を年 1 回実施し、受講率 100%を目指す。

## E：環境（Environment）

**GHG 排出量削減**：Scope1・2：2030 年までに 2024 年度比 42%削減

Scope3：2030 年までに 2024 年度比 25%削減

環境教育の受講率 100%を目標

**エネルギー管理**：2030 年までに事業所使用エネルギーの 50%を再生可能エネルギーへ転換。

**資源の有効活用（3R 活動）**：社内啓蒙教育と廃棄物削減に関する社員教育の受講率 100%を目標。

※詳細は [MPI グループマテリアリティ及び KPI](#) を参照

## 4. 報告範囲及び参考としたガイドライン

### 【報告範囲】

|      |                                                                    |
|------|--------------------------------------------------------------------|
| 対象期間 | 2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日<br>一部の指標については対象期間以前のデータについても掲載しています |
| 対象範囲 | 株式会社メディサイエンスプランニング及び株式会社シーポック                                      |

### 【参考としたガイドライン】

- ・ GRI スタダード
- ・ SDGs 17 の目標
- ・ CDP の開示枠組み

## 5. 環境指標

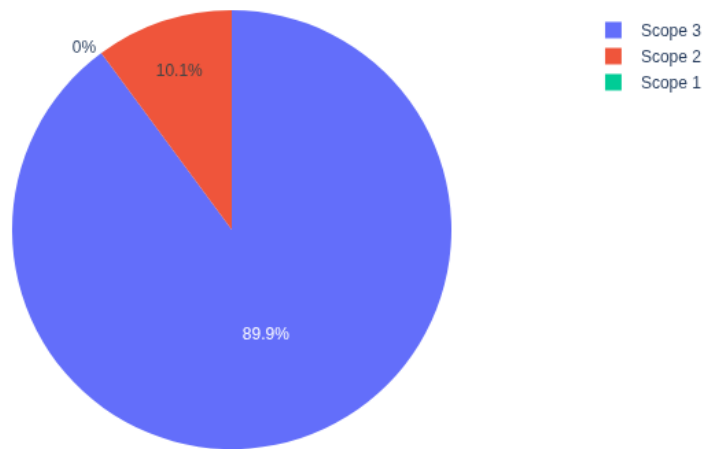
### 5-1. GHG 排出量

#### 【2024 年度 CO2 排出量】

| Scope                   | CO2 排出量 (t-CO2e) |
|-------------------------|------------------|
| Scope1 (直接排出量)          | —                |
| Scope2 (間接排出量：マーケット基準)  | 172              |
| Scope2 (間接排出量：ロケーション基準) | 166              |
| Scope3 (その他の間接排出)       | 1,527            |

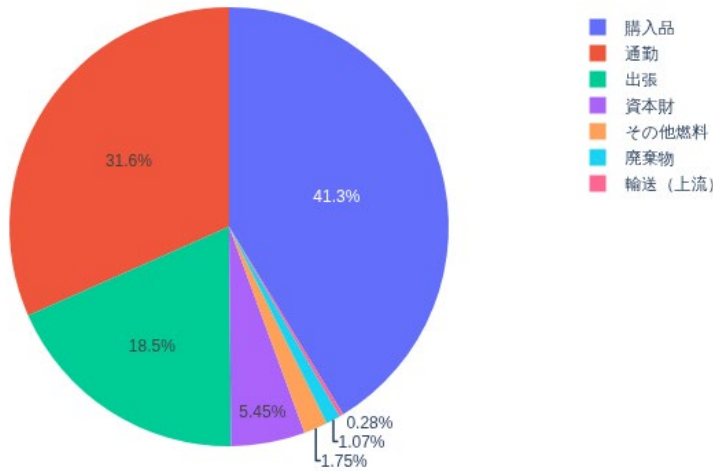
※Scope2 電力使用量について再生可能電力の使用はありません。

CO<sub>2</sub>排出構成 (Scope別)



| Scope3：その他の間接排出                       | CO2 排出量 (t-CO2e) |
|---------------------------------------|------------------|
| カテゴリー1：購入した製品・サービス                    | 631              |
| カテゴリー2：資本財                            | 83               |
| カテゴリー3：Scope1、2 に含まれない燃料<br>及びエネルギー活動 | 27               |
| カテゴリー4：輸送、配送（上流）                      | 4                |
| カテゴリー5：事業から出る廃棄物                      | 16               |
| カテゴリー6：出張                             | 283              |
| カテゴリー7：雇用者の通勤                         | 483              |
| カテゴリー8：リース資産（上流）                      | —                |
| カテゴリー9：輸送（下流）                         | —                |
| カテゴリー10：商品の加工                         | —                |
| カテゴリー11：商品の使用                         | —                |
| カテゴリー12：商品の廃棄                         | —                |
| カテゴリー13：リース資産（下流）                     | —                |
| カテゴリー14：フランチャイズ                       | —                |
| カテゴリー15：投資                            | —                |
| カテゴリー16：その他                           | —                |
| Scope3（上流）合計                          | 1,527            |

※Scope3 のカテゴリー8 について、リース資産からの排出量は Scope2 に含めて算出しています。  
また、カテゴリー9～15 は該当する活動がないため対象外としています。

Scope 3内訳 (CO<sub>2</sub>排出量)


| CO2 排出量の算定について  |                            |                                                                                                                  |
|-----------------|----------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 対象範囲            |                            | 株式会社メディサイエンスプランニング及び株式会社シーポック                                                                                    |
| 対象期間            |                            | 2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日                                                                                   |
| Scope2 排出量の算定方法 |                            | 地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき算定しており、Scope2 は電力使用量に排出係数を乗じて算出                                                              |
| Scope3 排出量の算定方法 |                            |                                                                                                                  |
| 区分              | 概要                         | 算定方法及び排出原単位の出典                                                                                                   |
| 1               | 購入した製品・サービス                | 当該年度の製造原価及び一般管理費に排出原単位を乗じて算出。<br>参照 DB:環境省、サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベース（Ver.3.4）                   |
| 2               | 資本財                        | 当該年度に購入した有形固定資産、ソフトウェア資産費用に排出原単位を乗じて算出。<br>参照 DB:環境省、サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベース（Ver.3.4）         |
| 3               | Scope1、2 に含まれない燃料及びエネルギー活動 | 当該年度に購入した電力消費量に発電に伴う間接排出係数を乗じて算出<br>参照 DB:環境省、サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベース（Ver.3.4）                |
| 4               | 輸送、配送（上流）                  | 当該年度に当社より発送した宅配等の輸送費用に排出原単位を乗じて算出<br>参照 DB:環境省、サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベース（Ver.3.4）               |
| 5               | 事業から出る廃棄物                  | 当該年度に当社より発生した一般廃棄物・産業廃棄物重量に品目・処理方法毎の排出原単位を乗じて算出<br>参照 DB:環境省、サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベース（Ver.3.4） |

|   |        |                                                                                                           |
|---|--------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 6 | 出張     | 当該年度に発生した出張に伴う交通費に移動手段毎の排出原単位を乗じて算出<br>参照 DB:環境省、サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定<br>のための排出原単位データベース (Ver.3.4) |
| 7 | 雇用者の通勤 | 当該年度に発生した出勤に伴う交通費に移動手段毎の排出原単位を乗じて算出<br>参照 DB:環境省、サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定<br>のための排出原単位データベース (Ver.3.4) |

## 5-2. 廃棄物管理

2024 年度の廃棄物総量は 41.4t であり、そのうち 8.1t (約 19.6%) をリサイクルしています。

### 【廃棄物内訳】

| 分類       | 処理方法   | 排出量 (t) |
|----------|--------|---------|
| 廃プラスチック類 | リサイクル  | 1.6     |
|          | 処理方法不明 | 18.2    |
| 金属くず     | 処理方法不明 | 10.3    |
| 紙くず      | リサイクル  | 6.5     |
| 汚泥       | 処理方法不明 | 3.4     |
| 木くず      | 処理方法不明 | 1.38    |
| 繊維くず     | 処理方法不明 | 0.06    |
| 合計       |        | 41.44   |

### 【リサイクル量】

| 分類       | リサイクル量 (t) | リサイクル率 (%) |
|----------|------------|------------|
| 廃プラスチック類 | 1.6        | 8.1        |
| 紙くず      | 6.5        | 100        |

## 6. 社会指標

|             |        | 2022 年度 | 2023 年度 | 2024 年度 |
|-------------|--------|---------|---------|---------|
| 全従業員        |        | 1391    | 1424    | 1426    |
| 男女比率        |        |         |         |         |
|             | 女性 (%) | 54.5%   | 54.6%   | 56%     |
|             | 男性 (%) | 45.4%   | 45.3%   | 44%     |
| 女性管理職比率 (%) |        | 26.5%   | 27.5%   | 27.1%   |
| 男女の賃金差異 (%) |        |         |         |         |
|             | 全従業員   | 86.9%   | 86.7%   | 86.8%   |

|            |          |       |       |       |
|------------|----------|-------|-------|-------|
|            | 正規雇用労働者  | 87.7% | 87.1% | 87.5% |
|            | 非正規雇用労働者 | 74.4% | 77.6% | 71.4% |
| 男性の育児休業取得率 |          | 44.7% | 67.7% | 70.0% |
| 中途採用比率 (%) |          | 67.1% | 44.2% | 20.5% |
| 障がい者雇用     |          |       |       |       |
|            | 人数(在籍者数) | 14 名  | 13 名  | 18 名  |
|            | 雇用率      | 1.87% | 1.71% | 2.44% |

## 7. 今後について

当社は、策定したマテリアリティおよび KPI の着実な達成を通じて、持続可能な社会の実現と企業価値の向上に貢献してまいります。今後も、社会的責任を果たすべく、誠実かつ継続的な取り組みを推進してまいります。